



# リアル書店を 力づけるための 人・空間・サービス・本棚に対する提案

目的—衰退しているリアル書店を力づけるために策を講じる

背景：書店は衰退傾向にあるが、状況を打開したいと思う人々が沢山いる

### アンケート調査実施

題：読書環境実態調査

- ・アンケート調査の目的：本屋に対するニーズ・印象の把握
- ・調査結果の活用方法：こういった面での改善が必要になるのかについて案を考える際の参考
- ・アンケート調査の実施方法：事務局の協力を得て、manaba+Rのお知らせにGoogleフォームのリンクが貼られた協力のお願い文を掲示した
- ・アンケート調査の対象：学部生・院生(先生の方からの返答もあったが、1件しか集められなかった)
- ・アンケート調査の実施期間：6/2～6/21
- ・回答数：145件

QRコード：  
左：アンケートのリンク/右：一部参考資料のまとめ

### 結果の分析から得た結論

1. 場所の存在が直接的に読書率の上昇に繋がりにくい可能性◎
2. 読書率に本屋という場所はそこまで影響していない可能性◎
3. 本屋の仕様は売りに上げに影響しうる可能性◎
4. 回数との関係が認められなかったことで常連・固い顧客層を作れずにいる可能性◎
5. 業界への関心の度合いによって町の本屋の必要性に対する考えが変わる可能性◎

❖ 全ての結果は標本数の少なさから、調査の方法次第では関連性に関する数値は変わりうる。また、解釈は主観による分、同じ資料を見ても解釈が変わってくるのもありうる。

## 人

- ・ **本屋日誌**  
：書店員が書く日記。内容は本屋での出来事。よく見えるところに掲載し、近くにペンと張り紙をおいて客が感想を書けるように
- ・ **交流会(作家)**  
：2部構成。1部は書店員が司会者の講演。2部は本屋日誌と客の書いた内容をあげながら、比較的話しやすいうちに。但し、オンラインでも進めること。また、作家は人気投稿サイトの書き手も◎。サイトを使って積極的に広告しよう

## 空間

- ・ **宝探し+宝について知ろう**  
：古書店で「宝」探しに相応しい本を仕入れる。そして、それを宝として本店のどこかの本棚に隠す。客が宝を探せたら、探せた人のみ集まる空間で書店員がその本の紹介をする。古書店の人もいたらなお良い
- ・ **テーマ型書店**  
：特定ジャンルや作品を追体験、または楽しめる空間の本屋。少しずつものを変えたり、アップデートや管理は必要

## サービス

- ・ **スタンプカード**  
：本を買えばスタンプが貰えて、それを一定数集めると、本を1冊無料で貰える。もしくは、自分で作ったポップを飾れる
- ・ **POP祭り(シーズン)**  
：SNS上で活動中の読書関連コミュニティに、シーズンに合ったおすすめの本とその本のレビューを募集、当選されたものをイベント用本棚におすすめの本と一緒に掲載する

## 本棚

- ・ **本棚の芸術性**  
：全てのものは空間の中でどう位置づけられるかによって違う芸術性を表す。本棚に新しい意味を与えるのが本屋の個性に繋がる可能性。
- ・ **客が作る本棚の空間**  
：仕入れられる本の一部を本棚に並べず、段ボール箱に入れておく。この箱を段の低い本棚だけが置かれた空間に。客はその空間で自由に本を並べる他、休憩したり読書したり